



平成30年5月1日

西の子

学校だより 5月号
三島市立西小学校

(活動の様子は三島市立西小学校のブログで御覧いただけます。)

現在185292人

文責 校長 土屋 晃

【家庭訪問 ありがとうございます】

忙しい時期でしたが、家庭訪問に対するご理解ご協力をいただきましてありがとうございました。家庭訪問をする意義を再確認することができました。子どもたちはいろいろな思いで登校しています。また、その子どもを支えてくださっている家庭もまた同じような思いをもたれています。先生方がそれを肌で感じ、応えていく土台になったと思います。今年1年、改めてよろしくお願いします。



【スムーズな滑り出し】

新しい先生と新しいクラスで、緊張した1ヶ月が過ぎました。気候的にも落ち着けるよい環境の中、どこの教室からも一生懸命に学習に向かっている子どもたちの声が響いています。心配なのはこれから夏に向かって暑くなることです。また、運動会の練習も本格的に始まり疲れも蓄積されます。疲れと暑さでこの1ヶ月で身に付けたものがはがれ落ちてしまうことが考えられます。家庭でも十分な休養と食事をお願いします。

学校ではできるだけ「あなたはどう思うの。」「あなたはどうしたいの。」というように自分で考えるように促します。判断はできでも行動に移せないのが子どもです。正しい判断ができれば先ずその事をほめたいと思います。その上で、子どもの背中を押して、その事ができたら思い切りほめる。今まではできて当たり前で、できなればしかられる、という方法が一般的でしたが、これから先ずほめて、自信を付けさせていくこと（自己肯定感）が大事だと考えます。

【変わってきた学校の雰囲気】

今年の委員会は常時活動を中心に取り組んでいるので、毎日、5・6年のどこかのクラスが活動しています。例えば音楽委員会を廃止して、あいさつ・美化委員会が発足したので、クラスごと決まった曜日に昇降口を掃いたり、毎朝あいさつ運動に取り組んだりしています。

児童会主催の1年生を迎える会も、児童会役員が何度も話し合いをもって計画し、大成功を収めました。低学年生からあこがれる高学年生になれるよう毎日を一生懸命送っています。

【西小から富士山の全景が見えた日は何日？】

(H29年 1/1~12/31)

緑町でスクールガードをしてくださっている飯田喜一様から貴重なデータをいただき、ありがとうございました。1年間、午前5時から午前8時まで西小から富士山を観察されて、できたデータです。



月	全景が見える		部分的に見える		見えない	
	日数	割合	日数	割合	日数	割合
1月(31日)	24	77.4②	4	12.9	3	9.7
2月(28日)	20	71.4③	3	10.7	5	17.9
3月(31日)	21	67.7	2	6.5	8	25.8
4月(30日)	16	53.4	4	13.3	10	33.3
5月(31日)	16	51.6	1	3.2	14	45.2
6月(30日)	11	36.7	8	26.6	11	36.7
7月(31日)	13	41.9	0	0	18	58.1①
8月(31日)	12	38.7	1	3.2	18	58.1①
9月(30日)	7	23.3	6	20.0	17	56.7
10月(31日)	7	22.6	6	19.3	18	58.1①
11月(30日)	20	66.7	3	10.0	7	23.3
12月(31日)	25	80.6 ①	2	6.5	4	12.9
合計	192	52.6	40	11.0	123	36.4

年間を通じて富士山の全景が見えているのは**52.6%**で1年間の半分以上の日で富士山全部が見えていたことがわかりました。また、暦の上でも冬と言われている時期は富士山がよく見えていたことがわかります。逆に夏は見るできない日が多いこともわかりました。他県から来られる方は富士山目当ての方も多く、貴重な情報だと思います。

こうした情報を集めることも、得た情報を活用するのも大事な学習で、特に総合的な学習の時間で求められている力です。自分だけが知った情報は必ず人に発信して、教えたくなります。勉強の意欲は主体的に「～したい。」から始まって自分だけが知った情報をつかみ、他者にわかってもらうところに学ぶ喜びが生まれます。

＜三島の地で詠まれた富士山に関する俳句＞

「霧しぐれ 富士を見ぬ日ぞ おもしろき」 松尾 芭蕉

「面白や どの橋からも 秋のふじ」 正岡 子規

